

東京・日本橋の活性化を図ろうと、女性が動き始めた。その名も「日本橋美人プロジェクト」。

「日本橋美人プロジェクト」が、橋に本社がある企業に勤める女性が月一回集まる「日本橋美人の街」を企画し、秋田美人や、老舗が多い街の特性を生かし、本物で教養、品格のある日本橋美人ブランドを育てる取り組みで、商品も次々生まれ地元企業への刺激になっている。近隣の銀座や丸の内には押されがちで、再開発には首都高移設など難問も抱える日本橋復活を後押しできるか。

「日本橋美人」で心も体もきれいに



山田晃子さん

オリジナル商品で「復活」後押し

ここ数年、日本橋の動きは活発だ。一昨年には百貨店跡地にオフィスビルや商業施設が入った

のは、日本橋の企業に、デザイン会社を経営する本橋美人も一つのブランド義。賛同した企業では

「日本橋美人」を冠した新たな宿泊プランを始めオリジナル商品を開発した。三月には「日本橋美人あなば」や「日本橋美人ステイ」のHP(<http://www.nihonbashii-ba.com>)内にブログを新たにスタートさせ、四月末には日本橋高島屋で「日本橋美人ゆかた」を使ったファッションショーの開催も決定するなど日本橋蛸殻町の南安総精力的に活動を展開して支配人は「カロリー計算」などの女性特有の視点山田さんは「いずれはが、商品開発で大変参考『日本橋美人』が広辞苑になっている」とプロジェクトの意義を認める。に、日本の美人の代名詞として定着させていきたい」と話している。

(浅野英介)